下出し述懐節（二揚）

二揚

「あ

〇	〇	〇	〇	四					

さ　ゆう　さ

ん　う　す

中	〇	中	七	五	七				

四　中、　五　中　〇　七　五　「工　中　「五　七

ば

中　「上　四　〇　七　〇　」九　四八、九、「七四　「中

ヨ

五　四　中、　工　〇　中、　七、　四

う　が

〇　中　〇　七　四　中、　五　中

み　」

〇　五　七　五　工　中　〇　五

「な　り

七　五　五　四　中、　五　中　〇　七

す　み

四七　「七八　「七　四　九　四八、九、「七下尺　七　工　「さ

七　「工　中　「五　七　中　「上　四　」七　「七

ぬ

〇　四　七　中、七、五　中　五　四　」七

とう　や

四　九　四八、九、「七下尺　七　四七　「七八　〇　「た

下出し述懐節（二揚）

二揚

び

四七「七八

し

○

四七「七八「七九

み

四八五中工○

てい

七四○」七五七中五七「上

四○○七○九四八九「七四中

「いちゃ

五四中工○七中七四

し

ま

○中○」五七五七

「ちゅ

四中五中○七七五中五七

が

中「上四○」七四七「七八「七

ョ

四九四八九「七下尺七工四七

四九四八九「七下尺七工四中五工中

四

下出し述懐節（二揚）

二揚

一、朝夕さん　お側　拝み　馴れ初めの
里や　旅しめて　如何し待つが

※終始にわたって、本来1拍表記である部分を都合上、2拍で表現しています

※七八九の音位が続く部分は七を人差し指、九を小指で押さえられる位置に左手を置く。いわゆる尺位にする

※「花風節」より繋ぐ